


【家庭教育支援チーム】

| | |
|----------------------------|---|
| チーム名 (呼称) | 四国中央市家庭教育支援チーム (呼称: ふれ愛グループ) |
| 活動開始年度 | 平成21年度 |
| 活動拠点 | 妻鳥公民館、寒川公民館 |
| 活動範囲 | 四国中央市内全域 |
| 活動財源 | <input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(学校・家庭・地域の連携協力推進事業) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 () |
| 組織体制 | 8 人 教育カウンセラー 1人、子育てサポーター 1人、元教員 2人、 元幼稚園教員 1人、青少年育成補導員 1人、PTA役員 1人、 元市役所職員 1人 |
| 具体的な活動内容 | (1) 週2回、公民館での個別相談活動 (2) 市内保育園、幼稚園、小学校での子育て講座や懇談会の実施 (3) 公民館と連携した活動(家庭教育学級・キッズステーション) <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  (子育て講座の様子) </div> <div style="text-align: center;">  (子育て懇談会の様子) </div> </div> |
| 活動を通して感じていること (成果、課題など) | (成果) (1) 子育て講座や懇談会で、保護者と本音で話し合うことができ始めている。子どもの生活習慣の改善についても呼びかけている。 (2) 個別相談に訪れる保護者の悩みは大きいですが、温かい言葉かけや支援を続けていくことの大切さを痛感している。 (課題) (1) 学校からは、今の子どもたちの現状を踏まえた内容の講演依頼もあり、子どもたちの生活環境の悪化に対する危機感を感じている。 (2) 子育て講座や懇談会で、保護者の心の支援や適正な子育てのアドバイスができるよう、グループ員自らが研修し質を高めていきたい。 |